



すみれぐみだより

2017年 1月 第4号

あけましておめでとうございます

新年も始まり、静かだった園内にも、久しぶりに登園してきた子どもたちの楽しげな声でいっぱいです。今年1年が、お子さんや保護者の方にとって笑顔が溢れる年になるよう願っています。

まだまだ寒い日が続いていますが、戸外でたくさん遊んだり、マラソンやなわとびを通して丈夫な体作りをし、健康に過ごして行きたいと思います。

なわとび頑張っています



9月頃からなわとびに挑戦しています。初めの頃は、縄を回すことが上手く出来ませんでした。毎朝戸外遊びの時間に、上手な子の跳び方を見たり、保育士に教えてもらったりと練習熱心な子どもたち。その成果もあり、少しずつリズムよく跳べるようになってきました。消防署の方からいただいたなわとびで「家でも練習しているよ!」と教えてくれて、頑張っている姿が目に見えます。友達同士競い合いながら、毎日縄跳びを楽しんで行っています。

また、なわとびを縛ることが出来るようになりました。日常の中で縄を縛るという経験がなかったため、苦戦していた子どもたちでしたが、「先生、1人で縛れたよ!」と嬉しそうに見せてくれます。

跳ぶ事だけでなく、何でも日々の積み重ねが大切だということ子どもたちの成長を通して感じています。これからも楽しくなわとびに触れさせていきたいと思っています。



ドキドキクリスマス会

クリスマス会に向けて、歌のメドレー、合奏、お遊戯と様々な練習を頑張ってきました。

メドレーの練習では、ゆりぐみとの合同練習で、いつもいい刺激を受けていました。ゆりぐみと同じように大きな声で歌ったり、目線や姿勢に気をつけながら手話をやったりと、とても真剣な眼差でした。合奏では、メロディオンを持って弾くということに初めのうちは慣れなかった子どもたちでしたが、日々の積み重ねで上手に弾けるようになりました。お遊戯では、みんな踊るのが大好きで、保育士の振り付けを真剣に真似て、上達が早かったです。

クリスマス会当日は「あードキドキする」と緊張している様子でしたが、ステージの上に立つと、練習の時以上に堂々とする子どもたちでした。出番が終わると緊張がほぐれたように「は〜」とほっと一息する姿に、頑張ったことが伝わってきました。遊戯の出番待ちでは、「頑張ってるね!」「頑張るよ!」など子ども同士で励まし合っている姿は、微笑ましかったです。すべての出番が終わると、みんなやり遂げた表情をしており、一回りも二回りも大きく成長したように感じられました。

保護者の方から「歌のメドレーの手話で感動して涙が出ました。」「成長がとても見られたクリスマス会でした。」「楽しそうに踊る姿が見られてよかった。」など様々なご感想を頂きました。残り少ないすみれぐみでの生活ですが、子どもたちと一緒にのびのびと楽しい園生活をし、成長を側で見守りながら素敵な思い出をたくさん作っていきたいと思います。

